内外タイムス THE NAIGAI TIMES

11月17日 木曜日 16日発行 昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番 直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995 編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番 振替貯金口座 東京170071番

第3281号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号)(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内領証字備内台警字第0136号)

3版

あすの暦 11月17日(木) 旧10月4日 月齢 2.6 日出 6.17 日入 4.34 月出 前8.33 月入 後6.29 満潮 前7.05 後5.55 干潮 前0.20 後12.30 (中潮)

天気予報 今晩 北よりの風曇、一時雨 気温下る。 明日 北よりの風晴れたり曇ったり。

新政局への抱負 鳩山首相記者会見

憲法は改めたい

日ソ交渉も自分の手で

補正予算考えず

鳩山首相は十六日午前九時四十分音羽の私邸で、自民党発足後、初の記者団会見を行い、約三十分間にわたり所信を明らかにした。首相はこの会見で第三次鳩山内閣の組閣方針、新党結成にともなう今後の日ソ交渉、日比賠償問題および三十一年度本予算案の編成など当面の内政外交諸問題について語った。記者団との一問一答つぎのとおり。

記者団に語る鳩山首相

組閣方針について

問 第三次鳩山内閣の組閣方針について。

答 まだ総辞職していないから考えていないよ。鎌倉へ行ってから構想をねろうと考えている。清新強力にしたいと考えているが、どうもいい内閣が出きそうもないと心配している。

問 閣僚の割振りは旧民主、自由で九対七ぐらいになるのか。

答 自由党との数の関係は参議院を加えるとほぼ同数になるから九対七でもどうかね。民主党側では十対六でどうかという意見もある本当にまだ一度も話をしたことはないんだ。

問 実質的には二十日か二十一日には組閣完了になるか。

答 二十二日の午前中に首班の指名をうけたらその日のうちに認証式をすます予定だ。

代行委永続すまい

問 第三次鳩山内閣の性格のポイントはどういう点にあるのか。

答 党内が円満にいくことが実質的には考えられることだ。三木(武吉)君は〝借金の返済もしなくては…〟などといっているし、岸君も清新な人物を入閣させたいといっているが、これらの点も考慮すべきだと思う。

問 お義理という点もあるか。

答 いままで党のために働いた功績はむくいてやらねばならない。とにかく一番いいことは総理大臣をかえることだよ。もっと若い人が総理大臣になればよいんだ。

問 それは本気ですか。

答 本気だよ。

問 適当な人がいるか。

答 これから養成するんだ、まだだめだよ。(〝それがいいたかったんでしょう〟と記者団にひやかされ大笑いする)

問 代行委員制についてどう考えるか。

答 これでやって行けると思う。しかし長くは続かないでしょう。一年もやることは無理だ。

問 来春総裁公選が行われるというが。

答 あとにシコリを残さないような選挙のやり方を考えなければならない。とにかく現実では公選をやる国はどこにもないよ。

問 新内閣に副総理を二名置くという話があるが…。

答 法制上できるかどうか研究中だが、できそうもないという論が多い。(根本官房長官が『内閣法で予じめ総理を代理するものを指名できることになっている。しかし内政、外政を分離してそれぞれに指名されたものを与えることは総理独任制の立場から出来ないようだ。そこで第一、第二代理ということになるが、これも研究の余地がある』と註釈する)

予算編成について

問 臨時国会に補正予算を出すか。

答 考えていない。

問 三十一年度予算編成はどうか。

答 大蔵大臣や関係閣僚で決めてもらい、僕はあまり発言しない方がよいのではないかと思う。今までの消極財政から積極財政に変える時期に来ているのではないか。断定するわけではないが、積極財政になると国民は物価騰貴を心配するから一概にはいえない。

新党の今後について

問 社会党などでは自由民主党はすぐ分裂するだろうといっているが、どう思うか。

答 やって見なくては判らない。

問 政党政治運営についてどのような抱負をもっているか。

答 保守が合同し社会党が統一した現状では保守政党の責任は倍加している。社会党も政権担当の可能性がある。だから保守政党は鳩山内閣存続というような政権争奪のためでなく、政策の遂行のために行動しなければならない。私が合同は政策実行の手段であるとしばしばいってきたのはこの見地からだ。

問 組閣にあたって副大臣とか参与官制度を復活させる構想があるようだが、これは行政整理と逆行するのではないか。

答 二十人ぐらい役人が増えることはたいした障害にはならないだろう。副大臣をおくかどうかも決めたわけでない。

日比、日ソ交渉問題

問 今後とくに外交面で社会党と話合う下地をつくる必要はないか。

答 事情によっては必要だ。日ソ交渉の経過を野党に説明したのもその見方からだ。

問 フィリピンは日比賠償の妥協案をのむといってきているらしいが…。

答 できるだけ早く片づけたい。自由党の意見を酌んで賠償交渉をやっている現状だからフィリピンが承知すればまとまる。

問 松本全権はいつごろロンドンに帰るか。

答 マリク全権も近く帰任するようだから、その時期を見図らって松本君も出かけることになろう。

問 日ソ交渉は遅くも来春には調印する方針か。

答 交渉してみなければ判らない、未帰還者の問題もあるし早くしたいと思う。

問 南千島問題を持出せばソ連は承知しない見通しが強い。それでも早期妥結はできるか。

答 やってみなければ判らない。

問 第三次鳩山内閣で日ソ交渉を妥結させるつもりはあるか。

答 日ソ交渉や日比賠償はぜひ自分の手でやりたいと考えている。(ここで本当に自分の手でやる決意かと念をおされる)私の手でどうしてもやりたいと思っているが誰がやってもよいと思う。なにしろ僕の考えだけで決めるわけにはいかないではないか。

憲法改正その他

問 憲法を改正したいという首相の念願、その長期予報的な段取りはどうか。

答 本当をいうと時期を見ていたのだ。早く改正したい。しかしそのためにはまず憲法改正案を作って憲法改正のための解散を国民投票前に行わなければならない。

問 憲法改正を自分の手でやるつもりか。

答 そのくらいの理想を持たなければ僕の体では生きられないよ。(爆笑)

首相、鎌倉で静養

鳩山首相は十六日午前十時四十分音羽の私邸を自動車で出発、鎌倉の扇ケ谷の石橋正二郎別邸に赴いた。同地で静養ののち二十日夕刻帰京の予定。

春夏秋冬

すったもんだの保守合同はどうやら『自由民主党』という名前で誕生した。合同はしたものの、四頭立の馬車で、その馬の思惑がテンデンバラバラ、党名も再分裂を予想した便宜的な組合せだと皮肉られる始末で、先行き甚だ心もとないが、とにかく、先行した統一社会党と対立して日本の国会分野は憲政史上はじめて保守、革新の色分けを明らかにしたわけである。

保守結党大会の日の外電は、早くも米英側の反響を伝えているが、いずれも、日本の保守勢力がこれによって強化された事実を認めている。とくにロンドン電報は、日ソ交渉のお膝元だけに、自由民主党が『抑留者の即時送還、ハボマイ、シコタン南千島の無条件返還、北千島の国際会議付託』という強硬政策をもって交渉再開に臨むことを指摘している。もしそうなればついこの間までの鳩山首相の『早期妥結』方針はケシ飛んでしまうことになる。

強硬論と実利主義

第二次鳩山内閣が国民の支持を得た原因のひとつは日ソ交渉の妥結をうたったことにあった。交渉の経過によって方針を変えることは当然予想されることだから、これをもって一概に退却といいきることはできないが、問題は交渉を妥結させる熱意があるかないかということになる。

こと外交や軍事になると、いつも景気のいい強硬説が国民の支持をうけるものである。日露戦後のポーツマス条約が軟弱だと焼打事件が起ったなどがこれを裏書きしている。しかし、景気のいいのは死んだ徳球にでも任しておいて、われわれはもう少し冷静に事態に対処しなければならぬ。アデナウアー西独首相はモスクワで激論を闘わしたあげくに抑留者送還のえものをもち帰った。代償は大使交換ということだけで何の損もない。これが西欧の実利主義というものらしい。鳩山首相も代行委員の一人として、こういう現実主義を身につけてもらいたいものである。党員の機嫌をとるだけでは指導者とはいえまい。

不可侵条約など

ソ連 欧州安保で三提案

外相会議

【ジュネーヴ十五日発UP=共同】モロトフ・ソ連外相は十五日午後の外相会議で欧州安全保障問題について次の三提案を行った。

一、三ヵ月以内にドイツにある外国軍隊を限られた部隊を除いてすべて撤退させる。

二、第一の点で意見の一致に失敗した場合、ドイツから外国軍隊の五〇%を引きあげ、各国軍隊の兵力を撤兵数の分だけ削減することについて協定を結ぶ。

三、北大西洋条約機構と西欧同盟の両西欧軍事機構とワルシャワ条約機構との間で条約を結び、紛争の平和的解決と侵略の脅威を受けた場合の対策協議を約束する。

モロトフ外相はこの提案を説明して次のように演説した。

ソ連案は国際緊張を緩和し、相互の信頼を築き上げ、安全保障と軍縮にとって一そう有利な空気を作ろうとするものである。ソ連案は東西両独の並立を考慮に入れたもので両独間にある相互不信の念を除去するのに役立つだろう。

きょうソ連提案討議

【ジュネーヴ十五日発ロイター=共同】消息筋によれば、四国外相は十五日モロトフ・ソ連外相が提出した欧州安全保障にかんする新提案の討議を十六日の会議にもち越すことを決定した。なお同筋はモロトフ提案は明らかに東西の立場を接近させることをねらったものだと述べている。

スティーヴンソン氏出馬を声明

【シカゴ十五日発UP=共同】米民主党の指導者で一九五二年の大統領選挙に出馬して敗れたアドレイ・E・スティーヴンソン氏は十五日、明年秋に行われる次期大統領選挙に出馬すると正式に声明した。

東京のエトランゼ ⑫ タイ

チットラ・チットラ・パーペット嬢(日赤看護学生)

郷愁をお祈りで

○…バンコック生れ、一昨年七月、私費留学生として来日、日赤の短期大学で看護学を専攻する実習生だ。白衣の服装が良く似合うのも道理、彼女の父親はお医者さんである。『あと二年で卒業です。卒業したら国へ帰って看護学を役立たせたい』と大きな瞳をくりくりっと輝かせる。当分仕事本位、結婚なんて先のことで『全く決めてない』という。

○…日本の感想は『とてもスウエ(素敵)ね』とタイ語を入れての一言だったが、家屋が雑然としていることと道路が悪いのには閉口だという。彼女の好物は〝スキヤキ〟〝イナリズシ〟の二つだが特に〝スキヤキ〟は『おいしいですネ』

○…日本人観について『女の方は大変に優しいのでたすかります』が男性については『どうみてもチト女性を粗末にするきらいがあるのではないですか』と中々にしんらつである。レディファーストの国のお嬢さんだけに異様に感じたのだろう。来日二年にして日本語はペラペラである。

○…『淋しくなるとお祈りするんです』と仏像をほりこめたネックレスを肌身はなさず持っている。一家一門からかならず一人は仏門に入れるという仏教国だけに信仰心は厚い。それでもとても淋しいことがあると、父母のところに帰りたくなるというあたりは世間並みのオボコ娘と変らない。十九才。

粋人酔筆

菊五郎・幸四郎の喧嘩

渥美清太郎

『黒船忠右衛門』という狂言は、久しくやらないから、今は誰も知らないが、昔はずいぶん流行った侠客の芝居だ。

安永九年、市村座で、四代目松本幸四郎が、この黒船忠右衛門をやった。『劔鑑町の段』という幕では、侍の八木孫三郎が誤解から、忠右衛門を嘲るという一くだりがあった。このとき孫三郎の役をつとめていたのは、初代尾上菊五郎だった。

ある日の舞台、クライマックスになって、孫三郎が奥から現れた。『ヤイ、黒船忠右衛門、おのれは不らちものじゃぞよ』というセリフなのだが、その日は菊五郎が『ヤイ黒船忠右衛門、イヤサ松本幸四郎』といい出したので、舞台の役者たちはびっくりした。見物はあっ気にとられた。菊五郎は顔を真っ赤にして、『イヤサ松本幸四郎、おのれは、おのれは不らちものだ。よくも仕切場の弥兵衛とグルになって、この菊五郎をのけ者にいたしたな』と調子高にどなり出したので、役者たちはどうすることもできない。

菊五郎は平舞台へとび下りると、見物の前へひれ伏した。あわてた見物は、『音羽屋ッ』と叫んだ。『狂言なかばで、わたくし自身のことを申し上げ、恐れ入る次第でございますが、これなる幸四郎は、実に怪しからぬ男でございます。仕切場の弥兵衛と結びまして、わたくしをのけ者にいたすばかりか、給金を一文も支払いません。わたくしも只今までこらえておりましたが、もう我慢ができませぬによって、御見物様へじきじきにお暇乞いをいたし、今日かぎり退座いたします。今までの御ひいきの程、ありがたく御礼申し上げます』と口上をいうと、サッサと楽屋へ入ってしまった。幸四郎はじめ一同すっかりテレたが、もうどうにも仕様がない。幕にして打ち出すより外はなかった。

これには、いろいろ説がある。幸四郎を悪人にしたのもあるし、短気な菊五郎の誤解にしたのもあるが、いずれにしても舞台でこんな騒動を起したのは前代未聞なので、非常な評判になった。菊五郎は五代目団十郎の招きに応じ、中村座で忠臣蔵の由良之助と戸名瀬をやり、大入をとったのを名残に、京都へ帰ってしまった。それでは幸四郎は、人気を失ってダメになったかといえば、そうではない。菊五郎一門が退座したので、役者はしめて十七人になったのだが、それにもめげずすぐに追いかけて『玉菊灯籠』と『山姥』を出したところ、これがまたすばらしい大入で四ヵ月も打ち続ける景気であった。幸四郎の人気は、そうした騒動でも決しておとろえるようなことはなかったのだ。

しかしそれから四、五年して、森田座へ移って以後は、すっかり不入りをつづけるようになった。それは人気の問題ではなく、森田座が木挽町に一軒別になっていたので、誰がかかっても大入をとれなかったのだ。幸四郎もさすがにくさってしまい、見物にも顔向けができないというので、四代目岩井半四郎と一緒に、大阪へゆき、中の芝居へ出勤することになった。もうそのころ、菊五郎は死んでいたが、その子の尾上丑之助が、角の芝居の座元だった。大阪での座元は子役にきまっていた。角の芝居の金主に知恵者がいて、丑之助が顔見世の口上に、『中の芝居へは、追っつけ怖いおじ様がござるとの事ゆえ、この芝居へ逃げてまいりました』といわせて、見物をあおった。

見物は菊五郎との喧嘩の一件を知っていたので、手ぐすねひいて待っていたところへ、幸四郎、半四郎が入ってきたのだから堪らない。乗込みの船へは石が打ち込まれ、芝居の舞台は嘲声に葬むり去られ、おまけに中の芝居が焼けてしまったので、ほうほうの態で江戸へ逃げて帰った。

しかし江戸では相変らず歓迎され、幡随院長兵衛や帯屋長右衛門で今に型をのこした。

市況

整理商状

新内閣の成立待ちに引続き見送り人気を深めており一両日賞われた金へン株も一服して全般に整理商状を呈している。特定株は人気離散して商内は見送られがちで東海上はじめおおむね弱含み保合。雑株は大証券筋買手びかえから整理気分が強まり、このところ人気の中心となっていた石油、化繊、パルプ、化学株など一～三円方小甘るむものが多く深押しは見られないが一般は頭重い場面となっている。

▽高い株＝東京機械四円

▽安い株＝吉富薬五円、日鉄鉱、コロムビア、日清油、三菱化工機三円

東京株式仲値

新株落△当落(16日前場終値)

特定銘柄	
東海上	234
郵船	60
新三菱	76
日清紡	254
味の素	294
三越	277
三菱地	479
平和不	208
日東化	101
日産化	96
三菱化	124
三井化	165
協和醗	138
東合成	149
三共薬	170
信越化	95
東高圧	163
昭電工	120
日本曹	101
旭電化	88
三菱造	95
三井造	130
三菱重	65
石川重	95
新工	137
東洋ベ	125
日立造	59
浦賀	63
日本光	137
キヤノ	160
理研光	53
三菱電	82

銘柄	値
日立	77
東芝	64
三洋電	—
松下電	153
八欧電	173
東洋紡	166
鐘紡	128
富士紡	121
大日紡	85
日東紡	70
片倉	30
東邦レ	129
帝[illegible]	36
中繊	43
帝人	167
東洋レ	215
三菱レ	140
倉レ	140
旭化成	394
山陽パ	147
日本パ	122
国策パ	141
東北パ	132
日毛	236
帝石	94
日石	115
昭和石	164
東燃	156
三菱石	156
大協石	162
三井金	110
三菱金	114
日鉱	110
住友金	114

銘柄	値
三菱鉱	50
古河鉱	76
昭和鉱	137
住友炭	60
三井山	58
北海炭	65
日鉄鉱	391
商船	45
三井船	48
西武	368
藤田興	206
飯野海	58
日銀	—
東銀	55
三井銀	—
富士銀	88
日証金	70
安田火	95
大正海	86
住友海	80
千代田	75
東電	616
関西電	667
東瓦	36
日製鋼	73
八幡	62
富士鉄	57
神戸鋼	57
日特鋼	107
日軽金	160
日金工	75
日本粉	129
日清粉	124
日本ビ	168
朝日ビ	184
キリン	203
宝酒造	124

銘柄	値
台糖	252
明糖	118
甜菜糖	117
野田	201
森永	175
明菓	175
日水産	99
昭和産	117
東洋醸	93
合同酒	150
三楽	136
大阪[illegible]	162
三井物	159
第一物	150
白木屋	270
高島屋	101
大丸	—
日活	71
松竹	209
東宝	1320
大映	171
王子紙	237
十条紙	280
本州紙	94
三菱紙	85
北越紙	65
日セメ	152
磐城セ	263
小野田	89
富士写	151
小西六	107
横浜ゴ	145
旭硝子	167
三井不	775
三井倉	81
渋沢倉	—
東洋埠	205

ないがい川柳 吉田朴司選

迷子へ巡査は丸くなって訊き　横浜　市野三七

何かしら鼻ならしたい独りっ子　杉並　白石悦子

日本の文化は腰が曲ってる　市川　川崎火呂志

スポーツよ芸術祭よといい身分　目黒　山下胡水

小児科医まだ子宝に恵まれず　北　稽三平

食客はサンマが安いなと思い　荒川　紫雲亭

【賞】縁起一番ねだりよいポーズ　横浜　渡辺夢生

内外抄

自民党の衆院勢力はジャスト三百。だが、三百代言式に野党をほんろうすればボロが出るぞよ。

◇

吉田さん『初一念を貫く』とて佐藤氏と二人ぼっちになる。この度は感服しかねた堅固一徹。

◇

中共の学術視察団、月末に来訪。外相会議で『東西交流』は停滞しても、こちらでは要領よくね。

◇

日本の国連加盟はいよいよ有望だとの言報、待ってましたの声がかけたくなる。

◇

保険金目あてに実母もろとも旅客機の四十四名を爆殺した米青年 あいた口がふさがらぬニュース。

青春無宿 (190)

大林清 作　下高原健二 画

虹への道(七)

『お早いことだね』

左側へ来たのが次郎をふりむいた。赤目の西だった。右に寄って来たのも、さっき三十間堀の角で会った中にいた顔である。

『たぶんこんなことだろうと思ったが、まさかあれからまっすぐ来ようとは思わなかったよ。ところで話はどういうことになったんだい』

次郎は二人に両側をはさまれながら、それまでと同じ歩調であるいていたが、この時やっと足をとめた。

『あの人は留守だ』

『え?』

西は虚を衝かれたように、次郎を見まもった。

『昼間出たきり帰っていない』

『ほんとうか』

西の眼が真剣に光った。

『嘘だと思ったらあの木島という家へ行ってきいてみるがいい』

次郎はそう云い捨てて、またあるきだしたが、そこに立ちどまっていた間に、愚連隊の仲間はもう一人ふえて、ジャンパー姿の大男が、どこからか出て来ていた。次郎が当然ここへ現れるものと思って、要所々々に見張りを立てていたものだろう。

西ともう一人の男は、次郎をやりすごしてから何か打合せているようだったが、西だけがやがて足早に次郎を追って来た。

『どこへ行ったかお前さん心当りないのかい』

西自身が当惑[illegible]た。『こっちからき[illegible]『スカーレット[illegible]いのか』『弱ったな、そ[illegible] 西は次郎と仇[illegible]ことも忘れたよ[illegible]池袋からの広[illegible]った。次郎の頭[illegible]がうかんだ。光[illegible]めることばかり[illegible]渕の方に手を打[illegible]と考えた。『大渕の家はど[illegible]るんだろう』 立ちどまりな[illegible]た。『大渕さんに何[illegible]『直接会って話[illegible]る』『何だ、アパー[illegible] 西は次郎がア[illegible]れて出るのでは[illegible]がいしたらしい[illegible]いた方が、次郎[illegible]だった。『そうだ、今夜[illegible]たいがどうだろ[illegible]『大渕さんは今[illegible]害だ。アパート[illegible]うんなら、俺が[illegible]もいい』『大渕と会った[illegible]ないが、ともか[illegible]みたいんだ』 西はちょっと[illegible]が、『俺たちの顔を[illegible]をされちゃあ困[illegible]れば案内しよう[illegible]あるきだした。 と言って、今[illegible]ないことについ[illegible]う必要があった[illegible]『銀座まで車代[illegible] 西は少し行っ[illegible] 次郎は答える[illegible]来かかった空車[illegible]

売春地獄、明るみへ

稼げど増える前借

子持ち女性が涙の訴え

新判例はどうなる

『新吉原』開設以来三百年、その間二万を越える幸薄い遊女の霊をとむらう荒川浄閑寺でこのほど大法要が行われ、同時に三十二冊の過去帳のなかから搾取にあえいだ彼女たちの"血の記録"が初めて公開された。それによると遊女は金で買われた"物"であって、人間ではなかった。いまは人権尊重が叫ばれ、売春問題が世論に大きく取沙汰されて、昔ほどの搾取ぶりは影をひそめたことになっている。さらに『売春を条件とした前借金は無効である』とさきに最高裁から新判例が出たばかり。ところが、たまたま都下の特飲店で『前借金をカタに家具を押えられた』との一女給の訴えから、まだ絶えぬ一部業者の悪どい行為が明るみに出され、昔とかわらぬ売春地獄として取調べ当局を驚かせている。

クモの糸のような細長い雨が降り続く先月十四日のあさ十時ごろ泊り客を送り出した特飲街から、寝巻姿でトボトボと調布署に向うひとりの女給があった。両手にはシャツ、シュミーズ、赤い靴、それに薄汚れた敷布をしっかり抱えていた。

彼女は調布の特飲店サロン不二に働く杉良子さん(二)仮名で、福島県の生れ。子供[illegible]活苦に耐えきれず[illegible]上京、前借金一万円[illegible]身を沈め、玉割りは[illegible]算は五日目ごとと[illegible]者吉田やよい(三)と[illegible]勤めに出た当時は[illegible]ので、主人から『前[illegible]ひとの家具を買っ[illegible]か』と持ちかけられ[illegible]ンス、鏡台、洋服ダ[illegible]二枚計一万七千円[illegible]類、日用品などを[illegible]ら強制的に買わされ[illegible]"仕事"が苛酷のわ[illegible]に二食の麦飯で塩[illegible]

[illegible]リを警察の手で調べながら調布署に訴えた。

調布署では甲州街道沿い(青線区域)=上布田[illegible]谷営業、売春等取締[illegible]手入れの最中だったたまサロン不二の経営に任意出頭を求めたところ、良子さん[illegible]前借金で動きがとれ[illegible]店女給一安栄子さんが賄い婦に救い出さ[illegible]重なる事実も明かになる。

ヤリ玉にあがった"サロン不二"

肌着と靴だけが財産

まったく寝耳に水

された。

サロン不二の経営者吉田やよいはいま妊娠八ヵ月の"重体"で面会謝絶。そこで松沢調布カフェー喫茶協組理事長の話によれば——

二人の女給が不二からやめた事実は認めるが、ミヨちゃん(良子さん)が七十万円稼いだとか、いくら働いても前借金が返せないなんていうことは、まったく寝耳に水だ。ミヨちゃんという女は仙台熊谷の特飲店を転々と回っていたプロもプロ、海千山千の大アバズレの札付き女給だ。あんな女どものいい分を信じる警察もどうかと思う。

被害者は一人でなかった

"玉代はうやむや"

栄子さんが語る"サロン不二"の内幕

市内小島町の某氏宅に身を寄せている問題の栄子さんを訪れて当時のもようや身を落したキッカケなどを聞いてみた。

——こういう生活に入った動機は?——

よく好きでやってるんだなんていわれますが、そんなひと、私たちの中に一人もおりません。表面では好きな顔をしなければならない事情もあるということを知っていただきたいのです。私は母が病気で月に一万から二万円のお金が必要だったのです。女姉妹三人では母の病気をなおせません。治療代に困っているとき近所の雑貨屋のおじさんが『東京へ出て女中になれば』とお金をくれましたので、その晩奥羽線金浦駅からおばさん(吉田)と一緒に上京しました。ところが調布のお店に入ると、ストリップの絵が壁に貼ってあったりねじりハチ巻でシュミーズ姿をした女のひとたちが煙草を喫っているのにビックリ。その晩ただの客商売といわれて、客を取らされてしまったのです。何のことやら判らぬまま上京した無知をそのときやっと知り、私は人生の希望を失ってしまいました。

——玉代は?——

玉割りと前借金の区別はとっても複雑です。たとえば金浦駅で吉田のおばさんは姉にいくらかお金を渡したり、私は新宿西口の洋品店で洋服を買って貰ったりしました。いずれもあとで判ったことですが、そんなお金も前借金にくり入れられ、玉割りから差引かれていました。玉割りは直接私が受取ったことはありません。おばさんの話だとショート四百二十円、時間六百二十円、泊り千円だそうです。五分五分で五日ごとに勘定する約束でしたが、一度も履行してくれませんでした。その上玉割りから鏡台、座布団など家具代のほか食事代百五十円が毎日差引かれます。"仕事"中でもおなかがすいてグラグラになって[illegible]られないので、いき[illegible]栄養を補給しました。[illegible]だ月は去年の五月の[illegible]月も平均三万円は下っ[illegible]ん。しかしそれでいて[illegible]具代とか何とかいろい[illegible]みんなとられてしま[illegible]年の三月実家の母が[illegible]りで一万円借りまし[illegible]万円、一昨年のクリス[illegible]腸炎の手術で病院に[illegible]ましたら、その入院代[illegible]万円にもなる始末です。

——いつ救出され[illegible]

働けば働くほど増え[illegible]ばかりなので、昨年五[illegible]嫁いだ姉と連絡、姉が[illegible]暇をもらいたい旨の電報をうってもらいました。おばさんはこの電報をみて『姉と共謀したろう、嘘つくと承知しない』ととり合ってくれません。その後もう一度姉から『カエセタノム』とおばさんに宛てうったのですが、お盆までには帰せぬとの返事で、承知してもらえませんでした。その頃賄い婦としてときどきサロン不二に手伝いにくるミツさん(四三)が私の窮状を知って、七月十五日に裏口からそっと連れ出してくれたわけです。このおばさんは私にとって命の恩人、第二の母親です。でも住所はいえません。

モダン烏人記

おりえ殺し

[illegible]体が発見された。丁度[illegible]殺しの後なので、社会[illegible]の犯罪に恐怖した。[illegible]もなく、その犯人とし[illegible]逮捕された。りえは小[illegible]おり、きわめて多情で[illegible]一人でなかった。資産[illegible]家財を蕩尽した忠助は[illegible]を結び、土地家屋のブ[illegible]り一旗揚げようと思[illegible]りえの気持はなかな[illegible]引き止めることが出来[illegible]りえが訪ねて来たの[illegible]で、彼女に情交を迫ると、言下にはねつけられたのでカッとなり、『貴様の体を動けないようにしてやる』『あなたには女房があるではないか』といい合った挙句に、咽喉を強く押し、ついで手拭で絞殺し、山崎の故智に倣って手足をばらばらに切り、持っていた三百円を奪って、池へ投げ込んだのである。六反池おりえ殺しとして当時謳われた事件である。(鮭)

自由の女神の裾の下

⑦ 恋の海辺

モード人魚の群れるロング・ビーチ

○…西のロング・ビーチ、東のマイアミ・ビーチと"持てる国"には二つの名だたる海水浴場がある。西のそれは毎年ミス・ユニバースの開催地として賑わい、東のそれは常夏の浜、ルンバ高鳴るところとしてご存じ。同じ海水浴場でも、鎌倉や江ノ島とはいささかケタ違い、この地はむしろ避暑、避寒地といった方がピタリで、まして一年のうち二十日くらいしか雨が降らないとあっては(大体アチのですがネ)四季を通じ訪ねる人が絶えないというのもムベなるかな。

より取り見取り

恋と思案のターミナル

○…紺碧の海、そよぐ風に鳴り渡るヤシの葉、どんなボク念仁でも、ここへくればロマンスの落ち穂一つも探したくなろうというもの。お相手はより取り見取り、金髪、銀髪、ブロンド、恋の人魚はお気に召すまま……である。ところが、この人魚たち、決して海には入らない浜辺に寝そべって"サン・タン"(ハダ灼き)というやつ、つまり適当に甲羅を干してござる。でなければ、海水着のトップ・モードをつけてシャナリ、シャナリ。あゝ、誰がための海水着ゾ。海が泣きますヨ。たまたま、サッソウと水に躍い潜った美女ありき…とみれば、これがなんと生理的排泄要求の然らしめるところでありました。

○…波打ち際近く、高層ホテルがニョキニョキと美観を並べているのは、さすがアメリカならでは、ピンは一泊五万円てのからキリは六百円の木賃宿に至るまで、これまた懐ろ都合のお気に召すまま。土産物店もズラリと揃って、名産オレンジ・ジュースを『さァお買いなさい、お買いなさい』——恋と思案のターミナルは、きょうも大繁昌である。(完)

【写真は冨田英三氏撮影】

瓦版

越塞のトリスバー"A"がそれ。女給のK子さんは美術学校が志望で金沢からはるばる上京してきたが、運悪く入試に落ち、来年を期して目下お勤めということろ。それだけに美術の話でもしようものなら『私のおうちここよ、是非いらして』と微笑。すぐ代々木初台の自宅を教えてくれる。

友人と同居しているそうだが、その友人も火木土は洋裁学校に通っているとかで留守、従ってこの日を狙えば彼女と二人きりで日の暮れるまでシミジミとお話も出来ようというもの。彼女の年令は二十一才、面長、色白美人とくるからうれしくなる。あわよくば…なんて考えるのはご自由。

自宅を教える女給さん

女性と芸術論なら美術の秋も過ぎたが、女性と芸術論で も…というキザ(?)な男性のために格好なバーがある。新宿は三

女給さんの自宅訪問といえば、新宿のアルサロ"E"のS子さんもすぐ自宅を教えてくれる。彼女の家は中野打越町のアパート。元来寂しがりやで『男友達が欲しいわ』というのが彼女の心境らしい。

妹と同居しているが、妹は通学しているので昼はただ一人。店では『もっとお飲みになって』なんておねだりが多くていやだったが、自宅を訪問したところ、打って変ったしおらしさで、優しい茶菓の接待など見違えるほどの初い初いしさだった。とは経験者の廊下長紳士M君の話。

世界流言譚

……(スイス)……

世界各国に裸体主義者の団体が出来ていることは先刻ご承知のことです。裸体でいれば金がかからなくて至極経済的だなどというしみったれた不景気対策などではサラサラなく、お互いがアダムとイヴの昔に返って、まだリンゴの味を知らない前の純真無垢な世界に今の世を造り直そうと、いとも健気な理想に燃えている団体です。戦争の危機はどうやら遠のいたが、まだまだ安心出来ない——というわけで、この裸体主義者の各国代表大会がこのほどスイスで大会を開き、つぎのような決議を採決しました。『裸体主義だけが戦争をなくすることができる。なんとなれば、軍服がなくて裸でいれば、およそ軍隊も敵と味方の区別がつかず、従って戦えないからである』マサリックが自分の県に帰って決議の趣旨を会員に説明しますと、スザンナ夫人が断固として反対しました。『会長、とてもだめですわ。戦争をなくすどころじゃありませんわ。わたしと仲のいい男の会員のハインリヒがわたしの寝室で裸でいたら、裸でやって来た夫とものすごいケンカになっちゃったことよ』

あすの運勢

十一月十七日　扇島象山

▲一月生—理想に失し現実を疎んじ失敗を招く物に忠実に努力せよ
▲二月生—軽挙にして失態を生じ或は不意の出来事で迷惑起り易い
▲三月生—周囲から盛り上る人気と力を元として進むはよし旅行吉
▲四月生—万事不振に陥り人気を失し経済的困難生じ易い異動大凶
▲五月生—環境事情は思いに反し辛苦を増し困難あり辛抱し控えよ
▲六月生—何事も順に進展し目的叶い幸福あり開業増築造作結婚吉
▲七月生—何事も思いに反し相違し徒労に帰し易い他人の世話事に
▲八月生—友情に裏切られ内に不和を生じ外に災禍ありやすい注意
▲九月生—継続的に一志以て努力すれば次第と幸福あり旧友にあう
▲十月生—内外世話苦労起り冗費多く失望あり交際外交は控え目に
▲十一月生—不意の出来事あい易く交乗物を注意病気けが盗難注意
▲十二月生—心静かに目的を進め方針を実施して成功あり開業よし

頭にきたインド娘

[illegible]カルカッタ市のど真[illegible]あしい銅像が立って[illegible]ジェームス・オートラ[illegible]ベンガル士民の暴動(一八五七年)を鎮めた民族[illegible]当時陣頭に立ったその[illegible]騎馬姿を再現したもので、高さ約二十尺。ところがさいきん一人のインド娘がこの銅像によじのぼり、どうしても下りてこない。しかもこの娘、密林から飛び出したばかりのような全裸とあって黒山のような人だかりもなすすべがなくワイワイ、ガヤガヤのニヤニヤ。警官が上ろうとすると、歯をむき出して抵抗する騒ぎで、ヤムなくハンサムな消防夫が、登場、やっと取り押えたが、いささか頭にきた少女らしいが、暴動を鎮圧したオートラム卿もこれではさぞかし"鉄の魂"がとける思いがしただろうとのこと。

【写真は消防夫と娘】

東海毒婦伝　青とかげ　(131)

野沢純　土端一美画

お幾の茶屋(二)

お幾の茶屋(二)
髪かたち、なりこそ変れ、まごうかたなきおりうの姿に、
『お嬢さま!』
手桶をカタリと取り落しざま、思わずヒシと抱きしめるお幾に向って、
『ばあや——』
崩れるようによろめきながら、おりうもしっかとすがりついた。
絶えて久しい対面に、万感が、互いの胸を去来する。そのまま暫し、無言の刻が保たれた。
お幾はやっと我にかえると、改めておりうの姿をしげしげと、打ちまもりながら、
『まあ、まるで夢のようでございます。毎日のご無事を祈って、三島さまに祈らない日とてはありませんでした。……こうしてお目にかかれるのも、三島さまの神のお守り——』
おりうに向って合掌しながら、
『さァさァ、おあがりなさって下さいまし。むさいところではございますが、ここは婆や一人の侘び住居——誰に遠慮もいりません。お気がねなく、さァさァどうぞ』
と、かき抱かんばかり。いたわり助けながら、十畳を横ぎり、奥の炉ばたへ迎え入れると、老いの目の嬉し涙を袖で拭き拭き、
『それでも、よくまあお一人で、箱根越えがなされましたこと』
おんば日傘で育った大家のお嬢さま——と思うだけになおさら、よくまァ、と思うのである。
『おお、それに箱根といえば、つい今しがたも、小田原から山越えをして来た、旅のお客さんから聞きましたが、峠で人殺しがあったとやら——そんなさなかを、よくまあご無事で』
お幾は夢中で語り続けながら、
『もしやお嬢さまも、道中噂をお聞きでございませんでしたか?』
『……』
おりうは黙って、かぶりを横に振るばかり。まことは、おのれが手にかけた——と思い返すだにおそろしい。

噂の本人——その下手人こそ、ここにいるのを、当のお幾は知るよしもない。ばかりか、露とだに思いもかけないことではある。
ただお幾が最前、チラと異様に思ったのは、日頃みずみずしい娘島田でのみ見慣れていたお嬢さまが、洗髪でもない無雑作な束ね髪であった事だけだ。
それとても、女ひとりの旅の道中、目立たぬようにわざとした——と思えば思えぬことはない。
『さぞお疲れでございましょう。虫の知らせか珍らしく、今日は行水風呂がわかしてございます。一風呂なされば、疲れもぬけましょう。油堀のご本宅と違って、それはまあ大へんなお風呂でございますが、どうぞお入りになって下さいまし』
と土間へおりて、下駄履きで案内したのは背戸の納屋脇。
へちま棚の下に据えた、露天風呂である。
目せきがわりに戸板が二枚、鍵の手に立てまわされて、せまい簀の子が敷いてある。
いわれるままに、おりうははじめて帯を解き、着物を脱いだ。
体のけがれをせめては風呂で、洗いきよめるつもりだった。かかり湯をして、台を足場に粗末な風呂桶をそっと跨いだ。油堀の檜風呂とは雲泥の差である。
身を沈めると、からだ全体がしびれる程に疲れているのに気がついた。
そのまましっと、空を仰いだ。夕へちま棚から覗かれる空に、夕月が出ていた。どこかで遠かわずがないている……。遥かな旅を来た気がした。
『お嬢さま——ここに着替えが置いてございます。婆やが普着た、もめん物でございますが、よく洗ってございますからあとでどうぞ』
お幾はそういって、戸板のフチへ衣桁がわりに脱ぎすててある、お嬢さまの旅の仕度を一かかえ、胸に抱いて土間へ引っこむ。

"店舗の整形外科医"という会社

日本室内装飾KK

店舗の装飾や設計も、女の人のおシャレと同じでいろいろに工夫してやってみなければほんとの美しさは生れない。

場所柄や付近の状況、街を歩く人々の人種とにらみ合わせてその店にピタリとした感覚を生かす、いうなれば"店舗の整形外科医"ともいうべき会社がある。渋谷エビス通り二丁目三番地『日本室内装飾KK』というのがそれだ。

キャバレーやバー、喫茶店や美容院など、ちょっとした印象で客が入ったり入らなかったりする店はもち論だが、一般店舗でも店の構造、照明、配色、品物や飾りつけの配置など間違うと、いくら力んでも客は入らない。心配になる店は一度(45)四四四三・七五〇五に電話をしてみるといい。繁昌する迄責任を持ってくれるというから有難い会社だ。

本物の焼トリが10円

新宿雛忠に味わう醍醐味

ヤキトリで一杯やるのはのんべえしか味わえぬ醍醐味だが、ほんとは本物の『ヤキ鳥』でやるのが常識。手軽さと安さが買われてヤキトリと称するモツが売れるわけだ。

しかし、本物のトリがモツと同じ値段の10円で味わえれば、なにも恥を忍んで露店のモツで通人ぶるには及ぶまい。新宿高野フルーツ前、レンガ通りの『雛忠』に行けば、この"トリ"が怪身、キモ、モモ、手羽の骨つきなど自由に選んで食べれて10円。しかも店は立派でキレイ、二階には酒一本50円でゆっくり出来る。数寄屋造りの座敷もあるとなればこれ以上の醍醐味はないわけだ。

最近17吋のテレビを備えたから愉しみがもう一つふえた。名物雛丸焼は50匁百二十円である。映画帰りにアベックで行っても恥かしくない店である。

手軽な世界漫遊の旅

各国の特徴を生かした洋間の数々

千駄ケ谷『南風荘』の新機軸

新宿御苑の森陰に七彩の湧き静寂と家庭的雰囲気で有名な『南風荘』が独特な構想で別館を新築。十数間の洋室に世界各国の雰囲気、調度、設備をととのえ。都会の雑音と日常の繁雑に疲れた現代人に憩いと、あこがれを満足させてくれた。例えばイスタンブルの部屋トルコ的な強いコントラストを野趣溢れる羽目板で抑え、渋い鋳りがローマの室である。ガッチリした石造りを想わせる白壁、隅々まで古代ローマを再現した部屋。又世界一の尖端を行くニューヨーク、其の中でも最もアメリカ的な街、マンハッタンの室、霧深い英国の主都ロンドンの名を持つ部屋は近代的感覚を充分に味える調度と緑の壁である。赤煉瓦と重厚な家具のあるモスコーの室。ぐっと明るくアルプスの山小屋、壁にはめ込まれた三面鏡が此の部屋を一段と面白くしている。ロマンと秘密をたたえたアラビヤの間。暖いスチームに想いははるかキャラバンの通う砂漠に走る。エジプトの土で壁を塗り、やしの繊維で織ったカーテンとコンゴーの猛獣の皮を張ったソファーがある。クレオパトラいづれも完全暖房。バス、トイレット、電話付きの落着いた部屋々々である。もちろん和室の好きな人には総数寄屋造りの日本間もある。

『美人を他人に取られるな!』

小伝馬町 美人喫茶『プリンス日本橋店』

そもそも美人とは……などというとちょっとうるさいが、世に美人の定義程、面倒くさくも又面白いものはないようだ。時代により人により、夫々の好みも違うことだから、その時代のより多くの人に、より強くアッピールした女性が美人のレッテルをはられてフットライトを浴びることになる。だから正確にいえば昨日の美人必らずしも今日の美人にあらず……ということだが、そこは世の男性の有難さ、昨日美人ならば余程の怪我でもしなければ今日も美人としてチヤホヤしてくれる。げに美人は有難きもの、うれしきものである。だから『美人がいれば喫茶店は当る』というのも、男性の心理をついた一つの真理なのだろう。前書きがつい長くなったが、その美人を売物にした『美人喫茶』なるものが今度日本橋に誕生した。

場所は都電小伝馬町下車、馬喰町に向って二本目の通りを左に折れて右側。開店以来大入りの純喫茶『プリンス日本橋店』が、その美人喫茶だ。銀座にくわしい人なら誰でも知っている五丁目並木通りの『プリンス』の支店だ。何しろ銀座の『プリンス』といえば、銀座で最も銀座らしい美人を集めた喫茶店として有名。つい先頃もその十数人の銀座美人達に、今秋の最新モードを着せて、生きたファッション・ショーをやって評判になった店だ。

今度の日本橋店は、この『プリンス』があえて『美人喫茶』と銘打って開店するのだから、あらゆる世代、あらゆる階層にうける美人がズラリと揃うことはまず間違いのない所だろう。

筆者などは、とかく美人にはダラシのない経験が多い。例えば始めての喫茶店に行くとするカウンターの前に素晴らしい美人がいる。思わずカッと見開く眼をさりげなく雑誌なんかに移したって、活字が見えるわけもなくテラリチラリと…。所が彼女の方も何となく僕の方をチラチラ見ている……ような気がする。何とも楽しい一々だ。所がそこへ常連らしい第二の男があらわれて『オイ、何々チャン』てなことでいともカンタンに彼女をアッチへ。僕はまた一つ、小さな失礼をする。畜生!そこでだ、喫茶店は常連になるに限る。それもオープンの最初からの常連に。そのチャンスが今…美人喫茶『プリンス』の美人をこのまま放って置くわけにも行くまいから。

30分のスピード判決

東京交通裁判所は大繁昌

交通違反は増える一方だが、これを裁くほうも手続きや面倒な裁判方式でとかくスローモーとなり非難の的となっていたが、違反事件を即決裁判する東京交通裁判所(墨田簡裁交通部と墨田区検錦糸町分室)=墨田区錦糸町四の三=が一日から店開きした。これは警察、検察庁、裁判所がここに同居して一回だけ出頭すると、一件わずか三十分位で取調べから判決、罰金納入まで済ませるという超スピードな裁判所、交通関係者間では早くも話題となっているが、開所二週間の成績などをのぞいてみた。

一日千七百件の記録

"親切、重宝"と好評

三階建の白亜のショウ洒な建物で、裁判所と検察庁が六千余万の工事をかけて建てたものだが、ここは千代田、中央、文京、港、台東、墨田、江東の七区内でおこした交通違反と、警視庁交通一課所属の白バイ、パトロールカーにつかまった違反者を専門に裁く。

スピード化された仕事ぶりをみると一階は各警察交通係の出張所になっており、ここで呼出しを受けた違反者は先ず取調べを受け、終ると書類はそのままベルト・コンベアーで二階の検察庁に送られる。ここには墨田、台東両区検の交通係り検事が一階から送られて来た書類によってさらに訊問、起訴と決まれば同じくベルト・コンベアーで三階の裁判所法廷に送る。

裁判所では被疑者の意思を聞いてから即決裁判、略式裁判、正式裁判のいずれかの方式で裁判を行い即決、略式裁判の時はその場で判決が言渡され、被疑者は帰りに一階の窓口に罰金を納めればよいというわけ。その間僅かに三十分、今までのように何回となく警察や検察庁、裁判所に足を運んで判決までに三ヵ月も四ヵ月もかかるということがないので好評。中でもタクシーの運転手や商売に忙がしい商店の店員たちから重宝?がられている。

開所第一日の十一月一日には千二百件、二日千三百件、三日は千七百件も処理したが、裁判所の係官が『いくらスピード裁判でもこれでは体が持たない』と悲鳴をあげ、その後は一日平均七百件から八百件程度に押さえているので、二週間で約一万三千件も処理するという超スピードぶり。これでいくと一年で約六十二万件の交通違反が処理出来るわけで、昨年の東京での交通違反裁判件数二十三万件をはるかに上回り、そのスピードぶりが期待される。

違反の内容は速度違反が圧倒的に多く、約四割を占め、ついで信号無視、一時停止違反、無免許運転などが多い。各署では出頭日を指定して違反者に通知しているが、その出頭日がお酉さまの日とか雨の日などだと、やはりタクシー運転手たちにとっては書入れ時なので出頭者が少いと、検察庁ではこぼしていた。

文京区戸崎町洋品商[illegible]さんの話 私達は商売柄忙がしく、つい速度違反を[illegible]これが今度の交通裁判所で早くカタがつくの[illegible]す。

台東区浅草千束町タクシー運転手Aさんの話 今ま[illegible]たり、お百度ふまされ[illegible]ぴいたのがこんなに[illegible]ようになり、また係官も手ぎわよく処理するので時間的にプラスとなります。

写真は(上)違反者の車で一ぱいの交通裁判所(中)各署交通係の取調べ(下)三階の裁判所事務室、ここで書類を分けて各裁判官に配られる

浮気の夫を半殺し

就寝中手斧で滅多打ち

内妻自首

[illegible]一七〇七不動産ブローカー岡部満さん(三七)の内妻樋口信子(三九)で、二人の間には六才と生後二ヵ[illegible]んが女の所で遊び酒に酔って帰宅したので信子が忠告したところ夫婦げんかとなり思いあまった信子[illegible]四時半ごろ満さんが就寝したところを台所にあった大工用の[illegible]頭部、顔面などをなぐりつけ[illegible]月の重傷を負わせたもの。[illegible]では信子を殺人未遂容疑で取調べている。なお満さんは付近の池袋外科病院に収容されたが頭蓋骨々折と内出血で重体。

外人宅荒し五百万円

偽ボーイ追及

原宿署では十五日夜渋谷区向山町七四無職今野功(三二)を窃盗容疑で逮捕した。調べでは今野はさる九月二十二日夕方渋谷職安を通じてボーイに住み込んだ渋谷区原宿三の一七〇の三十号米貿易商カルビン・E・ヒューギイさん(三四)が旅行中屋内を物色して携帯用ラジオ一台、指輪、時計など貴金属、衣類など約三十五万円相当を盗み出したもので同署ではさる五月ごろから渋谷区内の外国人高級住宅から同ような被害十数件約四百五十万円の被害届けがあるので今野の仕業ではないかと追及している。

金子に懲役七年

赤羽東映ギャング判決

【浦和発】さる六月六日夜の北区赤羽東映映画劇場のピストル強盗と横浜市内の小切手窃盗の両事件の被疑者、住所不定無職金子秀雄(三〇)=埼玉県大宮市大成町=に対する判決公判は十六日午前十時浦和地裁で開かれ伊沢裁判長から懲役七年(求刑同十年)を言い渡された。

天皇陛下、日展をご覧

天皇陛下は十六日朝、上野美術館で開催中の日展においでになった。午前九時半ごろから終始ご熱心にご覧になり、説明者の言葉にもいちいちうなずかれて、十時半ごろお帰りになった。

写真は外国人として再び白寿賞(特選)となった中国青年美術協会長、陳永森画伯(四〇)の日本画『鶴苑』をご覧になる陛下、説明者は野田九浦氏。

死亡1重傷4

またも福岡で炭鉱ガス爆発

【福岡発】十五日午後四時ごろ福岡県田川郡糸田町下糸田、岡崎共同石炭会社真岡鉱業所第三坑でガスが噴出し爆発、落盤を起し付近で作業中の採炭夫田中一さん(三四)は全身火傷で死亡、同前川伊太郎さん(四〇)ら四名は重傷を負った。

青酸飲んで交番へ

十六日午前二時ごろ台東区谷中初音町交番に『オレは死にたい、もう青酸カリを飲んだ』と住所不詳石井亀吉さん(三九)がふらふらになって飛込んできた。近くの病院に収容したが青酸カリが古かったため一命はとりとめた。

黄金のビタミン源

○…倉庫一パイに漂う甘酸っぱい冬の香り。いまは早生みかんの出盛りで青果市場には伊予みかんが山とつまれて、店員さんは整理にてんやわんや。

○…ことしはみかんの裏作とあって豊年にもかかわらず昨年よりは出荷状況は悪い。お値段の方は昨年よりやや安く小物で百匁二十円ぐらい、上物の方は百匁六、七十円といったところ。

○…十一月も中旬すぎると冬ものの本温州が続々と出荷し始め、正月近しを果物屋や八百屋の店頭から道行く人に呼びかける。そしてどこの家庭も、映画館やプロレスの会場でも冬の香を放ちはじめるのである。みかんの香映画のやみにふと匂い

【写真は東京青果市場にて】

冬のプロローグ

暖風で寒気ひと息

あすからまた本格的冬へ

十六日の東京は朝から生暖かい南風とともに珍しく小雨がパラついた。先月三十一日と十日の夜中にほんの通り雨程度があっただけで昼間の雨としては先月二十八日以来二十日ぶり。気温もこの朝の最低七度六分で平年より一度七分高

全国的にも暖かく朝六時の気温は札幌十二度で平年より十一度高をはじめ、各地で五度から十度高目だった。お天気相談所の話では急に暖かい南風が吹き込んだためで、この暖さも十六日一日限り、夕刻寒冷前線が通過してしまうと再び天気も回復、冷え込みもきびしくなって本格的冬に入ってゆくという。

東京に強風注意報

中央気象台では十六日午前五時半東京地方に強風注意報を発した。北海道の西方海上に発達した低気圧があって南々西に延びる顕著な寒冷前線を伴っている。東京地方ではきょう日中南風が強まり陸上で十米内外、海上で十五米近くに達する。また今夜は風が北西に変り風速十五米位いの季節風が吹くが、夕刻風が変るときには突風を伴うところもある。雨はあまり多くない見込み。

ガンジ部落手入れ

浅草本願寺裏

ポン、どぶろく押収品の山

警視庁覚醒剤取締り本部では、十六日朝六時半大井班長総指揮のもとに本部及び蔵前署など十五署の制、私服警官三百二十七名と予備隊二個中隊百四十名を動員、台東区浅草松清町一〇〇のバタ屋部落を急襲、無職宗君和(四八)ほか同部落内三十六ヵ所を捜査、食堂経営韓子順(五三)、無職福岡とい(四一)ら男十七、女九計二十六名を覚醒剤取締り法違反の疑いで逮捕するとともに五cc入りアンプル五十四本注射器四本、チクロパン十六組三十二本、どぶろく三斗などを押収した。

同部落は浅草界隈のヒロポン窟として昨年十月以来、蔵前署などにより前後六十八回捜索を受けたが、集団手入れはこれが初めてである。このバタ屋部落は通称『願寺』部落と呼ばれ、本願寺裏約四百坪の敷地に八十世帯のバラックがぎっしり建てられている。

今暁の一齊手入れに驚いて飛び起きた部落民は大半が朝鮮人のバタ屋、部落を取り囲む高塀は部外者の侵入に備え、出入口も一ヵ所という"防衛都市"ぶりで手入れ警官への抵抗もすさまじい。寝間着のすそを乱した女が『何んだって人の家へ黙って入ってきやがるんだ、さっさと帰れ』と家宅捜索に入る係官の手をつかまえ、バ声をあびせながら警官の頭に塩をバラまく風景もあった。また自転車のバリケードで侵入を防ぐものなどあの手、この手の捜索妨害を展開したが、結局たいした衝突はなく、午前八時半手入れは終った。

浅草本願寺裏の通称ガンジ部落手入れ現場

日暮里でも三名逮捕

警視庁覚醒剤特別捜査班では十五日夜荒川区日暮里六の二八三朝鮮人無職安鶴寿(五七)方をヒロポン取締法違反容疑で家宅捜索、ヒロポンを密造していた同町六の三一五無職宗徳子(二七)文京区林町一〇〇同呉玉順(二〇)同高君子(二三)の三名を同密造現行犯で逮捕すると共にヒロポン五cc入りアンプル三千五百六十四本、ヒロポン液三千cc、密造器具一式を押収した。

一年に九千七百五名を検挙

覚醒剤取締り

警視庁では昨年十一月十日、覚せい剤特別捜査班を設置、ヒロポンの取締りを続けてきたが、昨年十一月から本年十月までの総検挙件数は八千九百二十二件、検挙人員九千七百五名で、その間の押収物は原末一四一一九グラム(五百四十六万七千六百cc分)ヒロポン液二百五十七万五千四百八十一cc、錠剤四百八十八錠、半製品七十八キログラムに上っている。

青森県下に大火

一名焼死

岩崎駅など三百戸焼失

【青森発】十六日午前三時ごろ青森県西津軽郡岩崎村岩崎字松原農業熊谷正路さん(三七)方から出火、折からの南西十七米の強風にあおられ岩崎農業協組、陸奥岩崎駅、朝日土木岩崎出張所など駅前目抜き通り約三百戸(被災者約千五百人)を焼きつくし同六時ごろ鎮火した。損害原因は鰺ケ沢署で調べている。なおこの火事で同村岩崎西巻順子さん(四〇)は逃げ遅れて焼死した。被災者は岩崎小、中学校に収容、炊き出しを受けている。同村は明治四十二年四月上旬五十四戸を全焼以来二度目の大火であった。同村では十六日緊急村議会を開き、今後の対策をたてることになった。また陸奥岩崎駅が焼失したため五能線は松神、深浦両駅でそれぞれ折返し運転を行っているが、復旧の見通しはたっていない。

成城で喫茶店焼く

十六日朝五時二十分ごろ世田谷区成城町一五五軽喫茶オーロラ(中井二男さん)から出火、一棟五十九坪を全焼した。原因はろう電。

妻の浮気、愛着の板ばさみに悩む男

未練は禁物、別れよ

迷路ガイド　解答 高田せい子

問 四十八才の男です。結婚[illegible]

答 [illegible]ことがおありですか。結婚後約七年の間は平静であった奥さんが、どうしてこんな行為に出られたか、性的な不満、あるいは経済的な自立による浮気とか、あなたが一番よく判っておられる訳ですからよく考えてみてください。

また子供さん本位に考えた場合は、どんなことがあっても父母に育てられるのが一番よいことは申すには及びませんが、これらを考えられた上でのあなたの愛情と生活態度は奥さんを昔のように戻らせると思います。とにかく奥さんも後悔もされていられることですから、一応家に入れてあげてはどうでしょうか。(舞踊家)

郭沫若氏ら近く来日

日本学術会議が招待していた中共科学学士院郭沫若院長ら中共科学者の来日が具体化、今月末か十二月上旬といわれ三週間滞在の予定

独眼灯

○…北ボルネオのクチンに戦後十年かくれていた日本人が身許がばれて家族同伴(妻子供三人)で故国へ送還されることになり五日シンガポールに到着した。

○…この日本人はカノイサム(音訳)さん(三九)で戦時中クチンの軍病院で衛生兵として勤務していたが治療の親切さに現地人から親まれていた。

○…戦後カノさんは在留を決意し現地の女性を妻に医師として生計を立てていたが最近居住証明の申請から身許がパレて一家は帰されることになったもの。

(シンガポール十五日発AP=共同)

あすのスポーツ △野球 国学院大対教大、駒大対芝浦工大(十一時半、神宮)△庭球 全日本選手権(十一時、田園)△ビリヤード 3クッション選手権(十時、日本橋公会堂)△競馬 大井

Iさん 石川進介 346

続 情炎の千代田城 (301)

岩崎栄
寺本忠雄画

伊豆の春（三）

『誰だ。ご主人か』

『へえ、へえちょっとその』

障子をあけて、ここのあるじと、あとに四十女が二人。肉づきのいい鼻っぺちゃと痩せて背の高い骨ばったのと。

『ええおつかれさまのところ、お邪魔を申上げまするが――その、お客さま方は、江戸の役者衆でおいでなさる……とか』

『いやァ、どうも』

八百定は頭に手をやりながら、

『役者といわれちゃ面はゆいが、これでも元は、東海道筋を旅かせぎのドン帳役者だったけどね、ご難続きで一座は解散。やけくそんなってね、衣裳道具、それこそドン帳までの一さい合財、きれいさっぱりと売り払っちまったのよ、あの府中でね。だから金はかえって出来たよ。江戸までの路用をさっ引いても、まだこの四人が、三日や五日湯治して行くに事ァかかねえ。どうか心配しねえで注文しただけの酒はよこしておくんなせい』

『と、とんでもねえ、お客さま。おシモさんよう』

痩せたのが、

『そこの隅っこの、壁の穴んでも逃げ込むだよ』

『そんだよ、毛爪カニみてえによう。あはははは』

あるじが代って、

『そこで甚だ出しぬけの相談でござえますだが――このご連中で泊まり合わすのも何かのご縁。袖すり合うも他生の縁。お礼のところはお互さま出し合って、決してお粗末はしねえから、江戸の垢ぬけた芸をば、なんでもえゝだに、みっちり聞かせたり、見せたりして貰えてえと、ま、こういうお願えなんでござえますが』

『さあて、こいつあ一ぱん、考えてみねえと。なあお静』

『とんでもないわ、おじさん』

お静は笑って、あたまから問題にしようとはしない。

八百定が小声で呟くように、

『方便だ、なんでもいい、身を落さなきゃ』

そして大きな声で、

『いや、わかりました。わかるにゃわかったがだ、また銭、金は貰おうたあ思わねえがだ、芝居みてえな真似ごとするにしてから、衣裳も小道具も、三味線一挺もねえしまつでね』

『決して御懐中を心配するなんどとそんなのじゃあねえでがす。実はその、これにおいでなさるお客さまの御婦人たち――このお方たちや、このずっと奥伊豆は下田ミナトの御新造や、御隠居、娘さんたち、女ばかりの講中でござえましてな、三島権現御参詣のお帰りみち、てまえどもにお泊りくだされましたお客様なんでござえます』

『じゃァ多勢さまだな』

『へえ二十と七名さまで』

『ああそれだな。さっきから景気よく、三味線太鼓の大一座は』

『へえさようでござえますんで。みなさまお揃いに、お暮らし向きのゆたかな御連中でござえますだで、パッと陽気に芸くらべというわけなんでござえますだ』

ふとって愛嬌のある鼻ぺちゃの方が、

『あれ、こっぱずかしいによう。芸にもなんにもならねえ隠し芸だによう』

手の甲を口に、おかめの頬っぺたを赤くして笑っている。

『いやどう致しやして、ここで聞いていて、つい耳を傾けるほどの名人芸もおいでなさるらしい』

『ありゃ、まあ、どうしようねえ、

関弘子の除名問題をめぐって

新劇若手俳優グループの内幕を探る

俳優座の五つのスタジオ劇団が十月から連続公演をやっている。そのさ中にたまたま青年座の関弘子が同座から除名処分をうけるという事件が起きた。ところが同座が各方面へ出した通知では『都合により退団いたしました』となっていて、除名というような強い表現は使われていない。この点昨年新協から織本順吉、西村晃二名が"除名"されて青俳へ移ったときとは違っている。しかし、いずれにせよ関のケースは若い俳優同士が劇団を作り、運営に当っている場合では、似た現象がいろいろと見受けられる点もあるのでそういった観点から問題点を拾ってみる。

劇団員同士の恋愛 これが調和を乱す原因

先ず関の退団の形式であるが、青年座では『退めてもらった』といっており、文書ではあくまでも本人が『退団いたし』たことになっている。ところで真相はというと、第一に関が昨年、成瀬昌彦、山岡久乃、東恵美子、天野創治郎、森塚敏、土方弘らとともに俳優座準劇団員という身分から、一緒に飛出して青年座を創立した同人であるところから、それを一年そこそこの現在"除名"というような破壊的な形で結論を出したくないという同座総員の意志にもとづいたものだったらしい。それではなぜ関がそういう問題を作り出したかというと、各方面の意見によれば次のような事情があったようだ。

青年座結成当時、従来の俳優座の行き方に不満をもつ準劇団員の何人かが集まって幾度も議論を闘わし、プランを練った会合の間に、現在青年座のキャップ格の成瀬と関との間に恋愛感情が芽ばえて行った。そして勢い同座結成後も劇団運営の上で、関はかなりの発言力を持っているものと考えるようになったらしく、KRの人気番組『花嫁はどこにいる』では、佐田啓二から追っかけられる恋人落合美沙子（映画では草笛光子のやった役）役で大変好評を得るようになったことなども加わって、多少自分の才能を過信する気味もあったらしい。

そこへもって来て、スタジオ劇団連続公演で、三島由紀夫作『白蟻の巣』を上演することになり、舞台では山岡久乃のやった主役の一人を、当然自分がやらせてもらえるものと考えていたところ、作者三島氏や演出の菅原卓のイメージに彼女が合わぬところから、配役発表に際しては初井言栄が演った女中の役になっていた。これが彼女にカチンと来て女中の役もおりてしまった。この辺ちょっと普通の新劇の世界ではわがまますぎる態度と見られても仕方がないが、このとき怒った成瀬が関をひっぱたくという事件も起きた。ともあれその騒ぎも、彼女がこんどは経理、宣伝の仕事を引受けるということで表面はおさまったが、このあたりから、彼女の成瀬への気持は冷めて来て、KRテレビ『日真名氏飛出す』に出演するに及び、相手役久松保夫との恋愛関係が新たに発生して来た。

しかもこの久松やほかに阿部寿美子、伊豆肇らラジオ、映画、演劇関係に活躍している十二人がグループを作り、関自身も気まずくなった青年座を抜けてそのグループへ参加したいとの意思表示が、放送関係の方から同座へ伝わるということもあって、ついに彼女を同座総員が呼びよせ、話合いの末に劇団のアンサンブルが乱されるという理由で内輪では『退めてもらう』ということになり、形式的には"自発的退団"という最終的結論が出されたものだった。

我儘な女優が多い 年長者なく船頭が多い

これを、声楽家関鑑子の一人娘で、よくいえば明朗で天真ランマンだが、悪い面では少々軽率でオキャンな彼女は、会う人ごとに『私除名されちゃったのよ』と触れ回ったことが、かえって騒ぎを大きくしたもとだったようだ。

こんどの問題について、彼女がもといた俳優座の某氏は『弘子はもともとトラブル・メーカーの素質があるんだな。しかしあれでやっぱりオトナシ型の女の子にはないいいとこはあるんで、冷静で理性的な肌の成瀬君が惚れたのも判るような気がするよ。ただ劇団という中では、そのアンサンブルが個人的な不満に優先することを考えれば、ああいう性格は不幸だね。その点成瀬君が個人的感情を押えて踏み切った態度は立派だと思うな』といっており、放送関係でも北条誠氏などは彼女のわがままさを嫌っているといわれ、前にあげた十二人のグループでも、彼女が参加するなら入会しないというものも出ているといわれる。

前記俳優座の某氏も『若い劇団というのは、上に押えのきく年長者がいないことが、いろいろ問題を起すもとなんだな。船頭多くして何とやらの傾向もあるんじゃないか。それと同じ劇団内の恋愛でのはえものだよ。周囲から是認され、アンサンブルを崩さず、個人的トラブルを劇団内に持ち込まない大人の恋愛ならいいんだがね』という意見を出している。

こうしたことは他のスタジオ劇団の仲間、新人会、三期会、同人会にも共通する問題だが、その一つの新人会の立岡光は『ウチがうまく行っていると世間で見られているのは、女の子は大てい女房で、そういう恋愛問題のトラブルは起らないし、運営にしたっても絶対合議制を崩さず、ワンマンやワンウーマンが生れる余地がないってことにあるんじゃないですか』といっている。生まの人間、しかも並み以上に感情がハッキリして、自己主張も強い俳優たちの集まりだけに、これらスタジオ劇団だけではなく、どこでも多かれ少なかれ抱えた内紛がたまたま、青年座で火ポを出した――というのがこんどの関事件といえるようだ。

関弘子

㊤から成瀬昌彦、久松保夫、山岡久乃、菅原卓

"二枚目では勤まらぬ"

『胸より胸に』でストリップ劇場一日支配人の原保美

可と出たのである。目下にんじんくらぶ第一回『胸より胸に』でストリップ劇場の支配人を演ずる原保美が、四日この作品のモデル劇場カジノ座で一日支配人を勤めた。映画の脚本からいえば彼氏は冷酷無比、使えない踊り子と見れば情け容赦もなくクビにするという鬼ストリップ劇場の支配人だが、さて実際に一日支配人となって劇場に乗り込んでみると、映画とはとこと変り、何と頬の筋肉がたるみっぱなしという次第。もっともストリッパー諸嬢の [illegible] なかなか帰りそうにない。つまりはあすの舞台にも差支えるというわけで、支配人は二枚目ではいけないという結論になったもの。（よかったねェ、二枚目でない本ものの支配人さん）

カジノ座で大入袋を渡す原保美

新劇ドサ回り ④

俳優座の巻

新劇の各劇団では近来さかんに旅公演をやる。旅というと映画のロケもあるが、新劇の方は映画のように、スターと大部屋の差別もないし、何万の野次馬が押し寄せたというような華かな話題はないが、それだけにかえって庶民的な味のある珍談、奇談、失敗談もいろいろだ。以下劇団別にそういう話を拾い上げてみる。

夜中に起きて炊き出し 秋田のキリタンポで"一杯"くわされる

（プ）リーストリー原作、内村直也翻案脚色の『夜の来訪者』を持って、脚色者内村始め、東野英治郎、永田靖、三戸部スエ、平松淑美、横森久、神山繁、加代キミ子の俳優に、製作部町田裕氏及び裏方たち総員十七名が、六月二十一日日立製作所多賀工場を皮切りに八月二日まで約四十日間、東北、北海道、北陸を回った。小名浜の日本水素で公演をしたのだが、招待してくれたのは会社と労組文化部の双方。ここは以前から新劇好きで、前進座や新制作座も訪れている。公演が終ってから旅館で大宴会を開いてくれたが、近くの温泉から芸者が三人来た。地方公演に行って宴席に芸者がはべったというのは俳優座始まって以来の珍事だそうだ。殊に一行中、若い横森、神山などは『ホウ、これが芸者というものですか』とオズオズ着物にさわってみたり、三味線をいじってみたり。『新劇の若い俳優さんはほんとに純情ね』というわけで、大いにモテたという話だ。

（公）演全体としては大成功で、例えば札幌では新東宝劇場の公演にプーバイ（符売、つまりプレミアムつきのヤミ切符）が出て、三百円の指定席券が八百円にもなった。脚色者の内村氏は感激の余り『オレの書いたものの公演でプーバイが出たのはこれが最初で』ピーシャーの腹下しをやった。おかげでガンコな便秘がいっぺんに解決、これを称して『シャーね』という言葉が生れたが、東京へ戻っても引きつがれ、以来俳優座で『シャーね』といえば、"お下品"なこと一般に通用するようになった。

（秋）田県の大館はキリタンポの本場でここ産の比内（ひない）鶏を使った鍋が最上とされている。ところが一行には秋田出身は一人もおらず、餅米と普通米を使い、チクワのように穴をあけて練ったこのキリタンポ汁が、まさか主食代用だとはご存知ない。ほかに酒の肴などもいろいろ出たので当然オカズだと心得て、お代りをやったのはほんの二、三人。パイ一のあとにはウマイ秋田米で茶漬でもと心待ちにしていたところ、全然出ないで膳を下げられてしまった。聞いてみればよかったものを、平素は食い意地の張った連中のクセに、珍しくだれも不平ももらさず、めいめい部屋に引取った。風呂に入る。新陳代謝がよくなって、ますます腹は [illegible] クウと鳴って [illegible] つかれない [illegible] 前一時ご [illegible] とう台所 [illegible] 起して炊 [illegible] をやらせ [illegible] 十七名が [illegible] ままで整 [illegible] 物をおカ [illegible] 握りをパ [illegible] た姿は『いやはや浅まし [illegible] コッケイだとも…』といった一つ話になっている。

ステージ・ショー

快調な"パリ土産" 桃色の手袋=日劇MH

▽…村松梢風のもたらしたパリ土産から丸尾長顕と宇津秀男が構成・演出したのが、このロマンチック・ヌード・フォリーズ『桃色の手袋』二十景。珍らしくちょっとしたストーリーを持たせた試みも、散漫になりがちだが、一つのシンを通し方向を持たせた点において成功したものと思える。

▽…借金に追われて死を選ぼうとしている新聞社長（古川緑波）新聞記者志望の娘（深緑夏代）踊り子志望のその妹（暁龍子）警察署長（村田正雄）なんでも屋（泉和助）等々の登場人物が、適度のお色気と笑いの中にトントンと話を運んでゆくお手並みは、このところ沈滞つづきのミュージックホールに一つの新風を注入したものとして高く買いたい。

▽…殊に前半のたたみ込みのテンポは快調で、それだけに十三景『仮装は踊る』あたりから、ややテンポが乱れて来るのが惜しい。面白いのは英語のカタコトを活かした泉和助とE・H・エリックのかけ合いで、毎度の手ながらも、やはりオカシイし『地獄のバー』におけるジプシー・ローズの強烈な踊り、小野俊夫・加茂安奈のアパッシュなども捨て難い味がある。

【写真はその一場面=左から泉和助、深緑夏代、古川緑波】

豹の女（テンプル）と土人（高橋 [illegible]）の踊り、メリー松原とビンコンセプションのコミック・エットなど、今回は踊りにもなかなかのしい雰囲気が出ていた。

▽…初出演の深緑は歌に芝居にこの劇場にマッチするモノを持っており、グルーチョ・マルクスをまねた村田もいい味が出た。ほかシャンソンの横山美幸、山田ヨシエ、ヌードで桜洋子、原みどり、小浜奈々子、由比木の実など目立った。この二十四日から緑波に代ってシミキンが出演する。二十五日まで。（橋）

今晩のラジオ

16日（水）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供のシンブン◇ブレーメンの音楽隊 安藤晴代 25 オテナの塔 坂本和子他	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 市原嘉男 40 やさしい科学『人の先祖』	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 コンサート 南十字星 25 ファイブ・ゲーム	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『平将門』高橋昌也他 25 LPヒットパレード	00 ポツポちゃん物語 15 落語『高砂屋』桂右女助 30 歌久慈あさみ 小畑実他
7	00 ニュース◇天気予報 30 即興劇場 藤倉修一 中村紀子子他	00 名曲鑑賞 プロコフイエフ作曲トツカータ他 30 科学の散歩 伊藤毅	10 録音ニュース 20 歌謡曲サロン 笠置他 30 劇『遥かなる呼び声』	00 録音ニュース 10 歌の誘い ペリー・コモ 30 チエミと唄えば	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌宮地陽子 30 ものまねノド自慢
8	00 放送演芸会 落語『おしもさん』桂米丸◇俗曲『さのさ』他小唄勝太郎 豊吉◇落語『猫久』柳橋	05 英国労働事情 対談基政七 藤林敬三 30 農村の歩み『初めての裏作』埼玉県北川辺村	00 劇『十代の反抗』永井百合子 品川隆二他 30 ダブル・ゲーム 司会三木鮎郎 ゲスト岸井明他	00 歌のチャンピオン 司会関光夫 三橋美智也他 30 ❶漫才 万龍・一龍 ❷落語『狂歌家主』柳枝	00 アベックお好み劇場 市村俊幸 吉岡妙子他 30 劇『わが街に詩あり』森繁久弥 香川京子他
9	00 ニュース解説 小川和夫 15 希望音楽会 ベートーヴェン『運命』他 N響 45 ラジオ喫煙室 森繁久弥	00 舞台中継『俊寛』≪歌舞伎座より≫ 松本幸四郎 中村時蔵 中村歌右衛門 市川団蔵他	10 春日八郎アルバム 楽団ラジオ・ジョーカーズ 30 しろうと寄席 司会牧野周一 宮島一歩他	00 歌くらべ青木兄妹 青木光一 永田とよ子他 30 シネマミュージックのタベ アンリ・ルネ楽団他	00 劇『もう夜が明ける』伊志井寛 荒木玉枝他 30 お笑い家庭相談所 島倉千代子 南都雄二他
10	15 物語『離宮の松』三島由紀夫作 語り手加藤幸子 40 風流歌草紙『霜夜月』	00 高等学校講座❶解析 佐藤忠❷英語 梶木隆一 45 気象通報	05 今日のニュース（読売） 15 劇『人情馬鹿物語』 30 映画主題歌特集	00 大学受験実力養成講座 英文法 野原三郎 30 国語（現代文）塩田良平	00 劇『南無三宝』 15 商売繁昌 川元平雄他 35 巴里の街角
11	10 海外新聞論評 20 釣れない釣 藤原定作	05 経済の時間◇ニュース 20 小児の風邪 中村兼次	10 二元街頭録音≪二大政党に注文する≫浅沼稲次郎	00 斬捨御免≪身上相談≫ 30 タンゴのアルバム	00 スポーツ・カレンダー 15 時の人を囲んで三木武吉

テレビ

★NHK★ ◆6・00 シルエット『宝島』◆6・30 ヤンキーズに学ぶもの◆7・10 こんにゃく問答◆7・30 劇『逃げ傷』◆8・00 即興劇場◆8・30 ショー『トランプ物語』

★NTV★ ◆6・00 世界ニュース◆6・15 人形劇場『西遊記』◆6・30 ゼスチュアクイズ◆7・30 ボクシング実況（下谷公会堂から）◆9・15 国際スポーツ特集◆9・30 テレビごよみ

★KR★ ◆5・30 舞台中継『お軽と勘平』（東京宝塚劇場から中継）◆7・10 『サザエさん』◆7・25 東京テレニュース◆7・35 引きつづき舞台中継◆9・55 読売TVニュース

おしゃべり帳

吉田選手へ
少年野球のコーチを頼みたい。
――ステンゲル監督

名吟 都々逸

石井きんざ選

寝物語は新婚時代 今じゃ背と背で愁知ばかり　浦和・尾迫 通人

待ちに待ってた貴方の手紙 開けるに惜しくて胸に抱く　文京・木村いつ秋

サンガーさんには済まないけれど 良い子ばかりのこの寝顔　目黒・望月かな女

スタンドの紐を引くなり抱き寄せられて 隠しい貴方のテクニック　船橋・今井ちさと

あなたが住んでる大東京の 声が聞こえてくるラジオ　浅間・分玉吉広子

◇泊ってと頼みゃ承知をしてくれそうな 今夜も内気が邪魔をする　選者

はと笛

▽…東宝劇場『お軽と勘平』に女子プロレスのレフェリー役で出ているパン猪狩初日の数日前に巡業先で電報を受取ったので、直ぐ台本送れと返電したところ、東宝から来たそのまま返電が『ダイホンナシ、ヒゲノバセ』

▽…やっとヒゲも伸びそろって彼颯爽？と珍レフェリーを演じているが、困るのは表を歩く時。『デパートなんかに行くだロ、俺がエレベーターからヒョイと出ると、並んで待ってた娘さんたちがギョッてな顔をして後ろへ下っちゃうんだよ。ヤンなっちゃうな、まったく』と彼、リンカーンのようなヒゲをさすって嘆くこと、嘆くこと。【写真はパン猪狩】

『新話術家集団』が誕生

講談、落語、浪曲、漫才など大衆演芸の世界に近代性をもたせて新風を吹きこもうと、東宝名人会顧問の正岡容氏を中心に『新話術家集団』が結成された。同人は正岡氏はじめ演芸作家の大須猛三、鳴子六平ほか講談界で特異な存在の邑井操、田辺南鶴、口語抒情浪曲の朝霧照子、落語の柳家小せんの七名で二十日発会式が行われる。

五響会能 二十六日一時、水道橋能楽堂『橋弁慶』シテ塚田栄美『玉葛（たまかずら）』シテ佐野萌『三輪（みわ）』シテ野村諭

☆消息☆…マーキュリーの東海林太郎は持病の腸が再度悪化し牛込の国立第一病院に入院中。経過は良好のもよう。

その道をきく

どんな商売でも権威、成功者と呼ばれる迄には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗りこえたか？"その道をきく"のは以って他山の石としたい念願にほかならない。

業界一方のリーダー 小林電気の小林稔氏

品川区東戸越二の一〇二番地に株式会社『小林電機製作所』がある。日本蓄電器協同組合理事長の小林稔氏がその責任者だ。ニューヨーク、アルゼンチン、ブラジル、台湾、インドなど世界各地を巡って来た人だけに、小さな島国根性をみじんも持たない国際人だ。それだけに言葉の一つ一つに、人々の心を搏つものがある。例えば政治について、"商売に優先するものではなく、商売に従うものだ"というのもその一つ、国の出先機関である日本の外交官が官僚癖を出して商売を圧迫するのを眼のあたりにみての悲噴の現われだ。"輸出が、生命の綱といっていい日本では外交官は少くとも輸出の伸長に力をつくすのが大きな任務の一つである筈なのに、彼らはほとんどこの任務を忘れているばかりでなく、民間人の働きをすらセーブするような言動を吐き行為をする"と政治家に対する批判は鋭い。"このことは国内でも同様で、大資本に抗して行く中小企業は何より製品の優秀さが武器だが日本の政治はこれを助長しないのみか、大企業と結んで中小企業の伸びる道をはばむようにしか動かぬ"こういう点に中小企業の苦悶があるのだが、『小林電機』の果敢な戦いはみごとなものだ。

業界一方のリーダーとして小まめに動き、その人格と手腕は高く評価されているが、この人望は海外にも伝わり今年中にはインドへのプラント輸出の見通しもついた。テレビ製作にあたっても城南ラジオテレビ工業KKを創立して専門に製作研究を進め、近く『ルノー』と銘打って売出す迄にこぎつけた。その鮮度のよさは間もなく一般家庭でモテはやされよう。

小林社長は大阪浪華商出身、いかにも関西人らしい進取の気性に豊む人だ。五〇才というのに四十台の若さも、この働きと識見が生んだものに違いない。

優美で強く書きよい黒板 スチール黒板の 信隆産業

黒板といえば木製が常識。古くなるにつれ、ひどい反射光線とチョークのこりで困惑する。これを避けるには下塗りに漆をほどこす以外に手はないが、非常に高価なものになるのが欠点だった。

こうした黒板の不備欠点をアッサリかなぐり捨てて登場したのが茅場町一ノ一八信隆産業（社長伝田睦治氏）の『スチール黒板』だ。文祥堂が大卸元として販売に力を入れているというのをみても、その製品がいかに優秀なものか解ろう。反射光線は全くなく、ダークグリーンの沈んだ美しい色調が先ず眼を愉しませてくれる。チョークの乗りも上々。板面に日本油脂の研究になるメラニン系硬質塗料の焼付けに成功、使用に際しては損傷の恐れも全然ないという半永久製品である。大量生産方式で価格もぐんと引下げ、高級品のもつ諸条件を完備した"スチール黒板"が、学校や公会堂、官庁、会社などに行きわたる日も遠くはあるまい。

歴史より品が物をいう ガスストーブ王国誇る『巽工業』

行き先に『巽』のマークのストーブがあれば、従業員はありきれでその汚れを拭うという程、一人一人が自家製品に限りない愛情を捧げている会社。

それが北区中里町三九五の『巽工業株式会社』である。社長の塩谷欽一氏はまだ三十九才という若さだが、ストーブを作って本邦三大メーカーの一つといわれるほどの成功は、この若さに似合わぬしっかりした識見によるものだろう。

製品はバルカン、角型と、今では全国津々浦々に伸びて『巽ガスストーブ』をみない所はない。需用者の要望や注意をよく研究し、取り入れるべきは直ちに製品に反映させるという点、一度売った品物にはあくまで責任を持ち、修理その他のサービスを怠らない点など、他メーカーでは真似られないものだ。

現在従業員八〇名、工場は六百余坪。瓦斯ストーブの一大王国を誇っているのもむべなるかなである。創立は昭和二十五年三月歴史より品が物を言う会社。

家庭の茶ノ間の延長 心暖まる荻窪『こけし』

西荻窪駅南口前に『こけし屋』というフランス料理と洋菓子の店がある。主人は大石総一郎氏。昭和二十四年、まだ早大の学生時代アルバイトのつもりで始めた店が、そのまま本業となった。

石黒敬七氏をはじめ文化人や作家など有名人が多く、仲間や家庭の連絡場所に使っている。雨が降れば店員にハイヤーを呼ばせたり、後から来る家人への言伝を頼んだり、気軽に我がままに利用出来る気分が買われているらしい。

店主にいわせると『自分の店という気がしないのです。始めから客人ばかりで開業したものですから、お客様が育ててくれた店を預っているという気持』なのだそうだ。こんな所にこの店の繁昌する原因があるのだろう。

一口にいえば『こけし屋』は家庭の茶ノ間の延長。ゆっくりくつろいで心暖まるレストランだ。30人近くいる店員も明るい感じで、サービスも満点である。

地道に歩んで成功した KK平櫛商店

品川区東中延二ノ四一九番地に『株式会社平櫛商店』というのがある。貴材料卸商だ。社長平櫛氏は広島県の出身、広島笹間商業を卒えて大阪の伊藤岩商店に入りここで四年間腕を磨いて独立した。父が貴材料メーカーだったのでこの道を選んだのだが学校を卒えてから商店奉公をするという苦労多い方法を選んだのは、一つにこの人の地道な性格によるものだ。

商売も堅実主義で、店員はスパルタ式教育。入店して三年間は髪ものばさせない。質素険約で信用を博している。

不可能を可能にする男 鷲宮製作の 西見社長

成層圏飛行に用いられるベローズ（孔のないスプリング自動機器の原動力となるもの）を作って"オートメーション時代"に脚光を浴びている中野区鷺ノ宮一ノ五〇三の『株式会社鷺ノ宮製作所』は、この種の工場では最大。従業員二百人を擁して独往マイ進している社長は西見茂氏である。ベローズの製作に手を染めて三十数年、ひたすら研究に研究を重ねて文字通り陽の眼をみずに工場に徹夜も過したこともあるという程の精力家だ。頼まれればイヤといえない人柄の好さも手伝って、全国中小企業協議会員同中央常任委員など三十指に余る団体役員を勤めているのも、この研究心と他人に暖かい人柄のせいだ。

生産の戦いは大企業勢力から中小企業を守ることにあると、はっきりいい切るが、自から苦闘の歴史を作って来たこの人にしてはじめてうなづける言葉である。趣味は多種多芸の万能型、不可能の文字なしとは西見氏の為に作られた言葉でもある。

白井選手の愛用したグローブ 共栄興業KK

ボクシンググローブや野球グローブを作って名高い『共栄興業KK』は、専門メーカーとしては唯一の存在だ。本社は文京区駒込坂下町六二、社長は杉林末雄氏である。

ボクシンググローブは人の体を搏つ道具である。だから製作にはよほど慎重を期さないと危険だが、この点、最も信用出来るメーカーとして白井選手はじめ多くのチャンピオンが推奨している。千住に工場を持ち、従業員全部家族主義的な暖かい会社だ。